

令和2年度 自己評価結果報告書

NO.1

社会福祉法人 ゆりかご福祉会 幼保連携型認定こども園 ゆりかごWEC学院

2021年7月1日

項目	内 容 (A：大変良い B：良い C：一部検討を要する D：改善を要する)		評 価				意見・改善案
			A	B	C	D	
教育・保育理念	①	理念や基本方針を具現化して職員に周知しているか	6	8			・集団で教育、保育を行うため一人一人を尊重した活動がなかなか出来ていないことがある。
	②	理念や基本方針を具現化して園や地域の特色を生かし、保護者に周知しているか	5	7	2		
	③	理念や基本方針に基づいた教育・保育が行われているか	8	6			
	④	一人一人の子どもの人格を尊重した教育・保育について職員が共通の理解をもっているか	4	7	3		
	⑤	年間教育・保育テーマに基づいてクラス別の特色を生かしているか	6	8			
教育・保育計画	①	社会情勢や子どもの実態、地域性などを考慮し、必要に応じて教育・保育課程の見直しを行っているか	8	5	1		・環境構成にもう少し工夫していきたい。 ・週案の具体的な活動内容の理解が職員同士で曖昧なところがある。
	②	指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了・卒園までの長期的な視野を持っているか五領域に基づいた活動や生活が展開できるように配慮し作成されているか	9	3	2		
	③	子どもの体験が豊かになるように行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか	6	6	2		
子どもの発達援助	①	子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか	9	5			・日々の活動の中で時間に追われ子ども達への言葉かけを急かしてしまいがちになったり、対応が後回しになりがちなどところがある。 ・日頃から気持ちに余裕を持って穏やかな言葉かけを心掛けたい。
	②	子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるように留意しているか	8	4	2		
	③	子どもが主体的に活動できるような人的・物的環境が整備されているか	5	7	2		
	④	子どもの一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助を行う体制に努めているか	3	9	2		
	⑤	健康安全や発達の促進を十分に図るため、日々の環境整備を留意する指導を行っているか	6	8			
	⑥	子どもに相応し、食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか	3	5	6		
	⑦	子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか	5	4	5		
	⑧	子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、体験を積み重ねていけるよう計画を立て実施しているか	6	7	1		
	⑨	子ども自身が自分を肯定する気持ちを育まれていくよう信頼関係を築く援助に取り組んでいるか	4	6	4		
	⑩	保護者の生活形態を反映し、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた配慮に留意しているか	4	8	2		
	⑪	個別の支援や関わりのある子どもが安心して生活できる教育・保育環境を整備し、内容や方法に配慮しているか	9	5			
	⑫	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育・保育の内容や方法、保護者の相談に留意して行っているか	10	4			

令和2年度 自己評価結果報告書

NO.2

社会福祉法人 ゆりかご福祉会 幼保連携型認定こども園 ゆりかごWEC学院

2021年7月1日

項目	内 容 (A：大変良い B：良い C：一部検討を要する D：改善を要する)	評 価				意見・改善案
		A	B	C	D	
保護者に対する支援	① 子どもの発達や教育・保育などについて、保護者会の場を設け、保護者との共通理解に努めているか	8	4	1	1	・子どもに気づきがあった場合は積極的に話しかけるよう努めている。 ・楽しい話題を伝えられるようにしている。
	② 虐待に対応できる園内の体制(医療機関、児童相談所など専門機関との連携)の下、不適切な療育を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努め、通知、報告義務を行っているか	10	4			
	③ 地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか	8	6			
教育・保育を支える組織的基盤	① 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、衛生面や職員の健康管理に対応する専門職員の資質向上に努めているか	9	5			・自分から進んでの研修参加はあまりなかった。 ・日頃から専門書を読んだり、公刊物やインターネットで保育関係の情報収集が出来ていないので自分の知識不足を感じた。 ・感染症に対する知識を流行時期前に見直すなどしていきたい。 ・保護者からの要望を父母会や個人から受けた時の対応を職員全員に周知できるようにしていきたい。
	② 体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し適切な対応や体制を整備しているか	11	3			
	③ 避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応を実施できるように整備しているか	8	5	1		
	④ 地震などの自然災害に対する防災訓練・防災対策を行い、危機管理に努めているか	10	4			
	⑤ 施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育・保育の内容の充実と質の向上が図れるよう努め導いているか	8	6			
	⑥ 研修等、教育・保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを計画的に実施しているか	6	5	3		
	⑦ 事業計画が職員に周知されているか	2	9	3		
	⑧ 教育・保育の事業計画が利用者に周知されているか	6	7	1		
	⑨ 守秘義務の遵守が全職員に周知され、誓約書署名の下に守るように指導しているか	10	3	1		
	⑩ 個人情報を適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか	10	4			
	⑪ 苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか	6	7	1		
	⑫ 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか	2	10	2		
	⑬ 保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育・保育の改善が図られるように努めているか	4	10			
	⑭ 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実行に努めているか	2	10	2		

学院長評価

乳児から6歳までの子ども達を160名預かり、教育・保育を行っていく中で理想を求めると限りがないが、災害発生が多い・新型コロナウイルス感染症の影響・人材不足に悩むという環境は、なかなか私達の力では変えられない。乳幼児の教育・保育施設として、専門職員集団として、子どもの安全・健康を守る、日本人として育てる、保護者とともに育つ、そして様々な行事を通して子どもの健全な発達を促進していく使命があります。